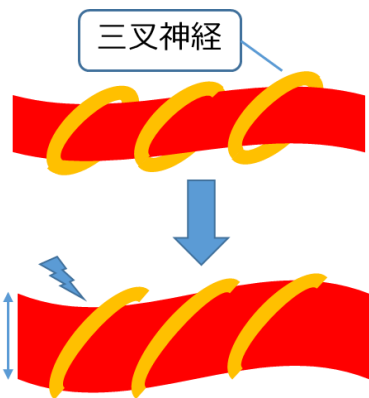


薬局では、DI Newsで取り上げて欲しい内容を募集しております。何かございましたら、院内のメールにて薬局中村までご連絡ください。

天候が不安定となり、低気圧による頭痛に悩まされる方も多くなる時期です。そこで、片頭痛のメカニズムと治療薬についてまとめてみました。



片頭痛とは、片側～両側に起こる拍動性の頭痛です

血管が太くなり、三叉神経が圧迫されることで片頭痛が発生すると言われております。

天候の悪い日では、空気中O₂濃度が低下し、よりO₂を血管に取り込もうとし、血管が拡張するため頭痛が起こると言われています。



片頭痛治療薬

発作治療薬

アセトアミノフェン
NSAIDS
トリプタン製剤
エルゴタミン製剤
カフェイン製剤

発作予防薬

バルプロ酸
ミグリス®錠
インデラル®錠
ベラパミル
アミトリプチリン



抗CGRP抗体製剤

エムガルディ®オートインジェクター



〈治療効果〉
片頭痛発作回数の減少
片頭痛発作発作時の痛みの軽減

〈使用方法〉
初回2本分投与、
次回から1ヶ月毎に1本ずつ投与

※2020年5月から患者さんによる自宅での自己注射が可能になりました。

片頭痛治療薬は、発作治療薬と発作予防薬の大きく2種類に分けられます。前者には解熱鎮痛剤も含まれ馴染み深いものも多いかと思いますが、後者については、他の病状の患者さんに使われている薬も多いため、一見すると片頭痛の治療薬であることがわからないことも少なくありません。

また、自己注射製剤といえば、インスリン、エピペン®、リウマチの抗体製剤を思い浮かべる方も多いかと思いますが、片頭痛の治療薬も発売されています。

注意点

カロナール®やロキソニン®を頭痛がある時、痛み止めを使えばよいと考えている人も多いかと思いますが、使用頻度によっては「薬物乱用頭痛」を引き起こす可能性もあります。以下のような人は、薬物乱用頭痛を起こしやすいので注意が必要です。

- ①月に15日以上頭痛のある日がある
- ②3ヶ月以上定期的に、鎮痛薬を使用している

「鎮痛剤はよく使う薬だから大丈夫」と侮ることなく、他の薬と同様に決められた量を正しく使っていただく必要があります。